

(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発事業 (JST-RISTEX) 研究開発成果実装支援プログラム
[脳活動画像化装置による認知症予防プログラムの社会実装]

NAT 解析システム海外展開プロジェクト・シンポジウム

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこのたび、本プロジェクトにより社会実装を目指している、脳波を用いた脳活動画像化装置 (Neuronal Activity Topography ; NAT 解析システム) を海外展開するための第一段階として、脳機能研究所ともゆかりの深い海外研究者 2 名を招聘し、公開シンポジウムを開催する運びとなりました。朝田隆先生によるホットトピックスのご紹介もございます。また、終了後には情報交換の場として、ささやかながら懇親会をご用意しております。ご多用の折とは存じますが、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

謹白

本プロジェクト研究代表 脳機能研究所主任研究員 田中 美枝子

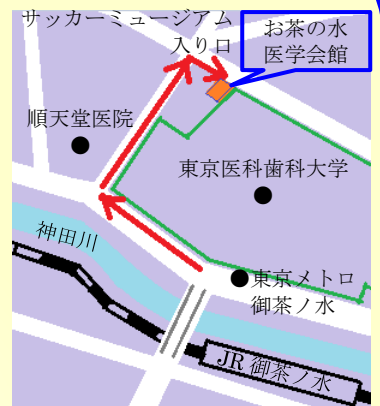
【日時】 平成 27 年 8 月 25 日 (火) 17:00~19:00 (受付 16:30~)

【場所】 お茶の水医学会館 9 階会議室 (東京メトロ丸ノ内線御茶ノ水駅から徒歩約 5 分)

一般社団法人 東京医科歯科大学医科同窓会 事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-5-34 お茶の水医学会館 7 階 ☎ : 03-5689-2228

※ 東京メトロ丸ノ内線御茶ノ水駅からは東京医科歯科大学を右手に見ながら外壁沿いに外周を回り、順天堂医院との間のサッカー通りをサッカーミュージアム方面へお進みください。最初の交差点を渡らずに右手へ曲がっていただきますと、すぐにお茶の水医学会館が見えます。建物 1 階の一番奥右手の入り口からお入りください。



【プログラム】

◆ 座長

朝田 隆 先生

(医療法人社団創知会メモリークリニックお茶の水院長、東京医科歯科大学特任教授、筑波大学名誉教授)

小杉 幸夫 先生 (脳機能研究所研究本部本部長、東京工業大学名誉教授)

— . . . —

17:00 ご挨拶 田中 美枝子

17:10 講演 「NAT 解析の概要」

武者 利光 先生 (脳機能研究所会長、東京工業大学名誉教授)

17:25 招聘講演 「軽度認知障害 (MCI) の診断、認知症予防の米国最新事情」 (In English)

William R. Shankle, M.S., M.D., F.A.C.P. (シャンクル 先生)

(米カリフォルニア州 Hoag (ホーグ) 記念病院脳神経科学研究所、シャンクル・クリニック院長)

18:10 招聘講演 「カリフォルニア州オレンジ郡の認知症予防コミュニティプログラムの紹介」

Junko Hara, Ph.D. (原 淳子 先生) (シャンクル・クリニック)

18:25 講演 「血液検査による軽度認知障害 (MCI) の判定」

朝田 隆 先生

18:40 フリーディスカッション

18:55 閉会の辞 佐藤 詔司 (脳機能研究所社長)

【招聘研究者の御紹介】

William R. Shankle, M.S., M.D., F.A.C.P.

Dr. Shankle is a board certified neurologist and a biostatistician, specializes in the prevention, diagnosis, and management of Alzheimer's disease and related disorders (ADRD).

He currently holds, at Hoag Neurosciences Institute, the Judy and Richard Voltmer endowed chair in Memory and Cognitive Disorders Program, and also serves as a director of Orange County Vital Brain Aging Program. In addition, he maintains his academic career at the Department of Cognitive Sciences at the University of California, Irvine. He also holds additional responsibilities as a member of the grant review committee for the National Alzheimer's Association, a journal reviewer for many ADRD related journals, and a member of the medical advisory council for the Patt Summitt Foundation, Knoxville, TN.

He served, for 10 years, as a clinical director at the Alzheimer's Research Clinic at the University of California, Irvine, since 1987. Following that endeavor, he initiated a community based ADRD program, Shankle Clinic, in 1997, where he still continues to deliver his medical knowledge and share his personal experiences as a caregiver to more patients and families.

Dr. Shankle received his bachelor's degree in Biology from Stanford University and his MD from Brown University. He also received his master's degrees in Biostatistics at the University of Southern California with postgraduate studies at Harvard. He was trained as an internist at Cook County Hospital, and finally, as a neurologist at LA County/USC Medical Center.

Junko Hara, Ph.D. (原 淳子 先生)

バイオインフォマティクス、医療情報工学の専門家であるとともに、産官学の研究プロジェクト、産業プロジェクトに関しても精通する。

徳島大学工学部知能情報工学科をへて慶應義塾博士課程政策メディア研究科修了後、慶應義塾大学 SFC 研究所、カリフォルニア大学アーバイン校においてアルツハイマー型痴呆の早期発見に関する研究を、カリフォルニア工科大学生物学科において脳のコンピュータモデリングの研究を 10 年間にわたり行う。アルツハイマー型認知症の早期発見手法に関する研究は慶應義塾大学より SFC 賞を受賞。また、幼児脳の発達における共同研究結果は、1990 年代の最も重要な発見としてニューヨーク・タイムスやロサンゼルス・タイムスに紹介される。

1997 年にシャンクル・クリニック、1999 年にメディカル・ケア社を共同創立し、認知症診断システムの構築、医療コンサルティング、医療研究開発などの事業をてがけている。また 2010 年より、カリフォルニア州オレンジ郡の認知症予防のコミュニティープログラムのプログラムディベロップメントも担当している。